

業務部速報

No. 43

発行 11. 10. 13

JR東労組 業務部

申3号 「ライフサイクルの深度化」に関する
覚書の遵守と制度の定着を求める申し入れ交渉実施！

覚書・議事録確認を軽視する会社の不誠実な回答に
対立で終了！！

ライフサイクルの深度化に関して、「本人希望」「原則3年」「元職場への復帰」と想定し得ない問題が生じた場合は、改めて労使間で取り扱うという「覚書」が守られていない現実を突きつけ、団体交渉を行いました。

会社の主張

ライフサイクルは単なる人事異動ではなく施策であり、通常の人事異動とは違う。しかし、最終的には人事異動であり、希望にかなわない場合もある。

原則3年は、3年ちょうどと議論したつもりはない。

今回は1月下旬の異動と2月下旬の戻しで“のりしろ”をとる。これは職場の意見を聞いて判断したものである。

組合の主張

単なる人事異動ではない！制度であり、議事録を結んでいる。問題や変更などある場合は議論することが前提である！

3年1ヶ月という議論もしていない！

現場の意見は違う。見習養成、ダイヤ改正を目前にして1日でも早く戻してもらわないと養成できない。その現場の気持ちをわかっているのか！

原則3年である！労使間の議論もない一方的な態度は断じて認められない！職場から議論するが、本日は対立で終了とする！